

ぼくたちの市に天然記念物



トネリコ(トネリコ木に産卵した産卵)



(学校近くのトネリコ木を観察)

ぼくたちが保護しているトネリコウセンアカシジミについて紹介します。

このトネリコウセンアカシジミは、トネリコ木に止まると、葉の裏や木の枝などにいます。そして、少しづつ木の根元へ下がっていき、そこでたまごを産みつけます。数は少ないですが川の上をとんでいく成虫を

紹介 毒 ちよウセンアカシジミ

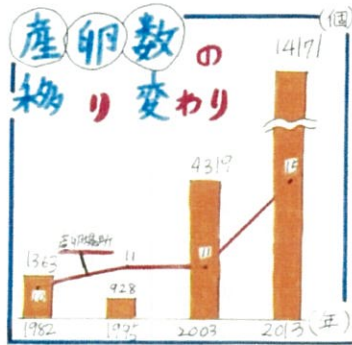


宮古市立亀岳小学校
5年
信夫 北斗
皆川 和輝
村松 花菜

トネリコウセンアカシジミの産卵数は、うなっているのだから産卵数の増えたり減りについて調べてみました。宮古市教育委員会、加増した産卵数

産卵数

・1982年：産卵数1417個
・1985年：産卵数928個
・1995年：産卵数4317個
・2013年：産卵数1417個



これから、産卵数が増えるのを期待しています。(花菜)



(小さい子供に説明する尾形さん)

小さいトネリコウセンアカシジミの秘密がたかきん

トネリコウセンアカシジミの会長尾形洋一さんにインタビューをして、トネリコウセンアカシジミの秘密について教えてもらいました。

秘密は三つあります。一つ目は、アリの共生関係にあることです。

アリは幼虫の出すミツを食べに来て、クモなどの天敵から守ってくれます。二つ目は、トネリコウセンアカシジミが朝鮮から海をわたって日本に来たことです。三つ目は、トネリコウセンアカシジミは高い山をたぶらはないので海をわたって日本に来たことです。

6月26日に、トネリコウセンアカシジミがヒラタカゲロウなど生息する田代川の水生生物調査を行いました。

調査方法は、川に入り、いる虫を探してきれいな水にいる生物が確かめられます。

結果は、カワゲラ、ヒラタカゲロウなどが見つかっています。きれいな川であることがわかりました。

守り育てる



(北斗)

「蝶」という字は、木の上の弱い命があることを表しています。これは環境アドバイザー菅原省司さんのお話です。他にも、シジミトネリコウには、たくさん種類があること、昔の田代は、もっとたくさんトネリコウがいたこと、今はその種類が減っていることをうかがいました。ぼくは、この話を聞いて、トネリコウをもっと大切にしたいと思いました。